

# サーマルカメラ 設営マニュアル

## 1. 貸出備品

- ・ サーマルカメラ本体 1台



- ・ PoE ハブ 1台  
(電源ケーブル付)



- ・ 電源タップ 1本



- ・ 検温モニタリング用PC 1台  
(電源ケーブル、マウス付)



- ・ LAN ケーブル 2本



※ 機材は全て接続してから電源を入れてください。サーマルカメラはPoEハブの電源を入れると自動で電源が入ります。

## 2. セッティング

- ① 来場者の入場ルートに合わせて、サーマルカメラの設置場所を定めて設置します。
- ② 検温を PC の画面上でモニタリングするため、PC の設置場所を定めて設置します。
- ③ PC の側に PoE ハブを設置します。
- ④ サーマルカメラに LAN ケーブルを差し込み、反対側を PoE ハブ（上段左から 1 つ目）に差し込みます。



⑤ PCにLANケーブルを差し込み、反対側をPoEハブ（上段左から2つ目）に差し込みます。

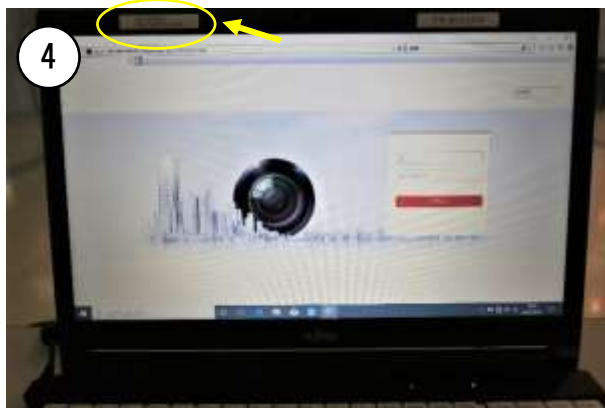
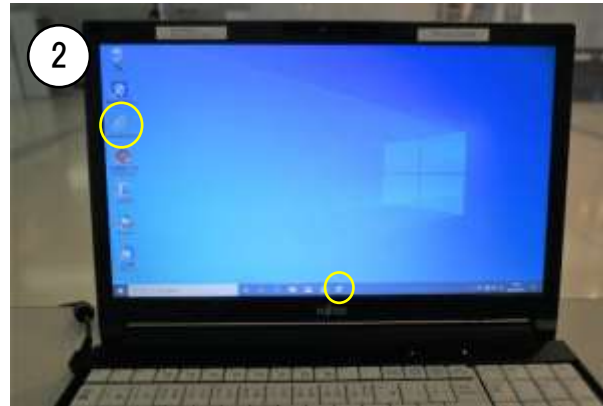
⑥ PC、PoEハブの電源を接続します。

⑦ 準備完了です。



### 3. システムの起動

- ① PC の電源を入れてログインします。（パスワードは PC 本体の画面右上に記載されています）
- ② PC 画面に並んでいるアイコンから Internet Explorer を選択し、起動させます。
- ③ デバイス認証の画面が出るので「はい」をクリックします。
- ④ サーマルカメラへのログイン画面が表示されるので、ログインします。（パスワードは PC 本体の画面左上に記載されています）  
※ログイン画面が表示されない場合は、5 分程お待ちいただいた後、②からやり直してください。
- ⑤ 写真の画面が表示されたら、システムの起動完了です。



## 4. 使用方法

### サーマルカメラのモニタリング画面について

- ・画面上にはカメラ映像とサーモグラフィ映像が表示されます。どちらもリアルタイムの映像を映しています。
- ・PC画面上に表示されている映像をダブルクリックすると全画面表示になります。（モニタリングの際は全画面表示を推奨します）  
解除する場合は再度ダブルクリックするか、キーボード左上のEscボタンを押してください。
- ・カメラ映像に表示されている青い四角の中に人の顔が入ると、頭上に体温が表示されます。  
※あくまで表面温度のため、実際の体温とは異なる場合があります。（検温前に寒い所や暑い所に居た場合など）
- ・検温は人間の額を検知して行っているため、深く帽子を被っている方などは検温出来ない場合があります。

### サーマルカメラ設置場所の微調整について

- ・PC画面の映像を確認しながらサーマルカメラの設置場所や角度の調整を行ってください。
- ・検温の有効測定距離は1.5～5.0mです。この範囲内に検温対象が収まるように調整してください。
- ・撮影場所が暗い場合、検温の精度が落ちることがあります。十分明るい場所でご使用ください。
- ・設置場所の微調整が完了しましたら、必要に応じてLANケーブルの養生を行ってください。  
養生の際は専用のパンチカーペットをご用意していますので、ご活用ください。

### 高体温者検知の場合

- ・高体温（37.5度以上）を検知した場合、PC画面上の体温表示が赤く表示されます。  
※あくまで表面温度のため、体温計を用いての再検温を推奨します。
- ・高体温を検知した場合、検知した際の画像がデスクトップ上の“高温者ログ”というファイルに保存されます。  
PC画面上で見逃してしまった際などのご確認にご活用ください。

## 5. 撤去

- ① PC 画面の Internet Explorer（サーマルカメラ画面）を閉じます。
- ② PC をシャットダウンします。
- ③ PC に差し込まれている LAN ケーブルを抜きます。
- ④ PoE ハブに差し込まれている LAN ケーブルを抜きます。
- ⑤ PC、PoE ハブの電源を抜きます。
- ⑥ サーマルカメラの LAN ケーブルを抜きます。
- ⑦ お貸出しした状態に戻していただき、ご返却ください。

